

パプアニューギニアの大地震 義援金引き渡し式典について

伊藤 明德 (ポートモレスビー支部 支部長)

2018年2月26日未明に、ハイランド地域(震源地はヘラ州)でマグニチュード7.5の地震が起きました。環太平洋火山帯に位置する PNG では、地震は頻繁にあります。通常は火山が多いニューブリテン島から北東のソロモンの地域で発生します。しかし、今回の地震がハイランド地域で起こったことは大きな驚きでした。

PNG での自然災害のニュースは日本のメディアからいち早く知る事が多く、遅れて PNG のメディアが発信します。

しかし今回の地震では Facebook で直ぐに現地の状況と写真が投稿され地割れ、地滑り、道路の遮断、家の倒壊など現地の大変な状況が伝わってきました。

LNG プラントや OkTedi 鉱山の施設にも影響がでています。国家災害センターは、ハイランド地域の 5 州で被害があり 54 万人が影響を受け、27 万人が援助物資を必要していると発表しました。

支援活動は私の職場でも直ぐに始まりました。職場の仲間の家族が影響を受けているからです。PNG 政府は 2 月 28 日に日本政府を含む各国と国際機関に支援の要請をしました。

日本政府は、JICA 事務所を通じて、いち早くニーズの把握を行い、テント、毛布、浄水機器、水のタンク等の緊急援助物資の供与に動きました。3 月 4 日に第 1 次の物資が到着し 7 日に蘭浦内閣総理大臣補佐官の訪問と重なり、空港内貴賓室で引渡式が行われました。物資は全て 3 月 10 日にニュー

ジーランド軍の C130 輸送機で被災地域の拠点空港に搬送され、その後オイルサーチ社により被災地へ届けられました。

この様な政府から政府への援助が行われる中、当協会は、日本にて会員及び各方面に義援金の募集を実施しました結果、74 万円もお支援を受けることになりました。この義援金は協会ポートモレスビー支部と在 PNG 日本大使館、マウエ名誉顧問と協議し災害支援活動を現地で行っている PNG 赤十字へ寄付させて頂くことになりました。寄与式典が 4 月 23 日に赤十字事務所で行われ、中嶋大使、マウエ名誉顧問が見守る中、ウベナマ・ロバ赤十字事務局長へ義援金が渡されました。早急なる復興の一助となることを願っております。皆様方のご厚意に深く感謝申し上げます。



Papua New Guinea Today から
<http://news.pngfacts.com/2018/02/australia-assists-png-earthquake.html>



TRT World から
<https://www.trtworld.com/asia/at-least-14-dead-in-papua-new-guinea-quake-15530>

第3回日本・パプアニューギニア協会親善訪問ツアーの募集につきまして 当会事務局

「パプアニューギニア・・・」

「行ってみたいけど、手掛かりがない・・・」「個人では不安だ・・・」

「安全面は大丈夫だろうか・・・」

まだまだ未知の国パプアニューギニアには、ご興味をお持ちの方が意外と多いですが、何となく行きにくい、取っつきにくいと感じておられる方も多いのではないのでしょうか。

そんな声にお応えできるのが今回の親善ツアーです。パプアニューギニアの自然や文化に触れることはもちろん、地元の人たちとの交流も予定しております。更に在パプアニューギニア大使館のご厚意により、このほど新築された大使館にて歓迎のレセプションを行っていただけることになり、得難い経験ができるではと思います。是非ご参加下さい。さてここでは過去2回の親善ツアーのダイジェストをご紹介します。



第1回目 (2010年3月31日～4月3日)

ラバウル、マダン、ポートモレスビーの3つのコースで行われました。日パ友好議員連盟の国会議員の他多くの方が参加されました。ラバウルではオイスカの研修センターで参加されたアニメ歌手影山ヒロノブさんと遠藤正明さんにドラゴンボールZの主題歌「CHA-LA HEAD-CHA-LA (チャラ・ヘッチャラ)」を唄っていただき、PNGの研修生やJICAの皆さん、ツアー参加者で大いに盛り上がりました。また首都ポートモレスビーでは、大使館のご厚意で歓迎レセプションも開いていただきました。



第2回目 (2016年11月5日～9日)

ラバウル、ゴロカ、ウェワクの3つのコースで行われました。ウェワクでは戦没者の慰霊に加え、地元の学校に訪問し、現地の先生方と意見の交換を行いました。またポートモレスビーでは、大使館のご厚意で行っていただいた歓迎のレセプションに、マイケル・ソマレ元首相（現イーストセピック州知事）も参加いただき、大いに交流を深めることができました。



訃報

当協会名誉顧問、元駐米大使の大河原良雄氏（99歳）が3月29日にお亡くなりになりました。

大河原氏は、オーストラリア大使の後、駐米大使をされ、日米経済摩擦に対応されてきましたが、太平洋戦争時、海軍主計としてラバウルに赴任されていた関係から、当協会の名誉顧問を設立時よりお務めいただき、両国の友好に一役買っていただきました。なお紺綬褒章を受章されています。

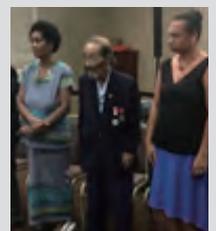


大河原 良雄氏

謹んでお悔やみ申し上げます。

パプアニューギニア・ウェワクの川畑静氏（91歳）が4月10日にお亡くなりになりました。

川畑氏は、人間魚雷「回天」の元搭乗員で、戦後映像カメラマンを経て、パプアニューギニアのニューウェワクホテルの経営に長年携われました。慰霊団や文化人類学関係者の受け入れに多大なる貢献をされました。また昨秋には、天皇陛下から旭日双光章も受章されています。



川畑 静氏 (中央)

謹んでお悔やみ申し上げます。

中嶋 敏（在パプアニューギニア特命全権大使）

大使館は新営工事の完了に伴い、官庁街にあたるワイガニ地区へ移転し、3月26日から業務を開始しました。これまで分散していた事務所、公邸、館員宿舎が同一敷地内に集まったことで、セキュリティと効率性が向上しました。また、首相府、外務貿易省、各国大使館といったカウンター・パートへのアクセスが容易になりました。

館員一同、新たな環境でこれから迎える APEC 首脳会議等の準備に邁進してまいります。また、皆様の来館を心よりお待ちしております。

住 所: Godwit Road, Waigani, Port Moresby, NCD,
Papua New Guinea
(Next to Australian High Commission)

郵便物送付先: P.O. Box 1040 Port Moresby NCD
Papua New Guinea (変更無し)

電 話: (675) 321-1800 (変更無し)

F A X: (675) 323-0153



事務所全景



公邸全景

荻原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）

4月18日にインターコンチネンタルホテルにてアジア大洋州24か国による、アジア婦人友好会のチャリティバザーが開催されました。日頃からビジネスでお付き合いのある企業の方々からも多大なご支援を頂き、多くのドアチケット、ラッフルチケットをご購入頂きました。失礼ながらこの場にて御礼申し上げます。

また現地からコーヒーを含む食品、クラフトなどパプアから重い荷物を運んで頂いた方々もいらっしゃり、様々な形で、本当に多くのご支援を頂き誠にありがとうございました。

また、ゴロカのホテル3泊と半日観光をご提供して下さった、PNG Japan様、ゴロカまでの航空券を2枚ペアでご提供して下さった、Air Niugini様においても本当にありがとうございました。

さて、今回は大使ご夫妻が不在のため、バザーのリーダーとして、前大使夫人のMadam Dusavaもパプアニューギニアから遠路はるばるご参加され、バザーに花を添えられました。

去年のバザーの収益金は、2017年度中にWe Care Foundationという財団へMadam Dusavaよりパプアニューギニアレディーズ会として、医療機器を寄付させていただきました。

今年の分に関しましてはまた後日ご案内させていただきます。

皆様のご支援がアジア大洋州の恵まれない子供達への支援、学校や図書館の建設、医療施設の充実、女性の就業支援など様々な形でサポートされることを願ってやみません。



弊社はインターネット黎明期の1995年にインターネットプロバイダとして創業し、まもなく23年を迎えようとしているIT事業者です。

今やパソコン・サーバ・ネットワーク・インターネットを中心とした、IT環境に囲まれて仕事をするのは当たり前となりました。しかしあまりにも急激に変化し続けるため、その一つ一つを管理しきれなくなり、お困りの方も多いのも現実ではないでしょうか？



弊社ではITに関する煩雑な契約を一本化し、金額面や手間などあらゆるコストを削減するべく、インターネット接続、サーバホスティング、ホームページ管理（更新等）、ITサポート（パソコンの不具合等）、そしてGoogle、Slackなどに代表される便利な無料アプリケーションの有効活用のためのコンサルなどをひとまとめにした「御社のシステム管理部代行サービス」をご提供しております。当然ですが、ITの活用方法は、会社様ごと様々ですので、それぞれの会社様に合わせてご提案させていただいております。

特に、昨今では、スマートフォンを皆さんお持ちになっていると思いますが、どのように有効活用されると宜しいか試行錯誤をされている方も多いと思われる。実は、会社や自宅で使われているパソコンと連携することで、とても便利に使えるアプリがとて多く存在します。しかしながら、実際にどのように活用するかを解りやすく解説するマニュアルは皆無に等しい事と、数カ月の間にインターフェイスが変更されたり、機能追加があったりもしますので、追いついていくのも容易ではないと考えられます。と言いますのは、皆様には本業がおありで、このようなIT技術は活用することだけに意味があるはずだからです。

弊社では、そのサービス名の通り「御社のシステム管理部を代行」いたします。

電話一本、メール一通をいただくだけで、お悩みの解決に向けて全力でサポートさせていただきます。

更に協力会社との提携により、パソコン関係のみならず、簡単な顧客管理システムから、販売管理システムや会計管理システム等の大掛かりなシステム構築も承ることができ、システム内製化に向けたIT部門の立ち上げに関する支援も行うことができます。

また、パソコンでちょっとした販促チラシをワードやエクセルで作ってみたけど、なんかイマイチ、ホームページの一部分を変えたいけど上手くできない、そんなお悩みの声をしばしば耳にしておりました。

弊社では、日本・パプアニューギニア協会様には、ホームページの制作及び更新作業、ごくらくちょうの制作など各所でお世話になっておりますが、ホームページと印刷物の両方をワンストップでご依頼いただくことで、会員企業の皆様にもご満足いただけるサービスをご提供して参りたいと考えております。

IT関係、印刷、特に、急にパソコンの調子が悪くなったなど、お困りの際には、弊社にご一報ください。

お客様のお悩みを解決し、煩わしい手間を極力簡略化しつつ、ご要望にはしっかり応えていく、その思いを具体的なサービスとしてご提供して参ります。



※お電話やメールを頂戴する際には、協会の会員様であるとお伝え下さいますようお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

会員の皆様の地震募金への暖かいご協力に深く感謝いたします。広く呼びかけを行いました結果、一般の方々からも募金をお預かりすることができ、協会として

の役割が果たすことができました。募金の引き渡し式の様子は本号ごくらくちょうの通りです。両国の友好親善に今後とも寄与してまいりたいと存じます。さて、メルマガで既にご案内させていただきました通り、本年度の総会を

6月26日（火）に虎ノ門霞山会館にて開催いたします（総会11:00から、懇親会12:00から）。詳細は後日ご案内いたします。次号では、協会のPNGツアーのご報告ができると思います。ご期待ください。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：30社 ◆ 個人会員：176名 (2018年3月31日現在)

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン(株)内
TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556 E-mail: info@jpgng.or.jp URL: http://www.jpgng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員5,000円 法人会員50,000円 学生1,000円 PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ